

## 関東ふれあいの道を歩く 東京 ⑥杉の木陰みち

2020年 6月13日 池内淑皓

2019年12月15日（日）快晴で暖かい。師走の半ばにしては16度と言う暖かい日となったので、急遽ふれあいの道を歩く事とした。

今日のコースは、武蔵五日市駅からバスで上養沢に出て日の出山に登り、御岳山から歩いて青梅線の御嵩駅に向かう最もポピュラーなハイキングコース。日暮れが早いので歩行に注意が必要だ。



「⑥杉の木陰みち」 概念図

(首都圏自然歩道連絡協議会)

武蔵五日市駅→上養沢バス停→養沢鍾乳洞跡→日の出山→御岳山神社→滝本→御嵩駅



今日の鉄道最寄り下車駅は JR 五日市線の終点、武蔵五日市駅



数馬方面行きの登山者はバス2台の満員、養沢方面は時間が早いか少ない。



上養沢への道は狭いので、ミニバス2台の運行であった



江戸時代にはここからも御嶽山への参詣道であったから、「御嶽山道供養塔」が残されていた、弘化四年（1847）羊年4月と読める



歩き始めたばかりなのに早速里程標があった、まだ1.0kmだ



七代の滝への林道と別れて、日の出山への登山道に入る



何とも寂しい登り口だね、道標は苔むして道は草だらけ



下草がなくなると、やっと良い道になった



「養沢鍾乳洞跡」この辺りは古生代から中生代の地層で、当時は海底であった。石灰岩の地層で鍾乳洞も多く、養沢鍾乳洞は古くから発見されていて、昭和の時代は洞内を見学出来たが今は閉鎖となった



「くろも岩」あたりの登山道。石灰岩層が露出する岸壁をへつりながら行く



今年は暖かかったから、12月半ば頃まで紅葉が見られた



1時間半程尾根を上り詰めれば、日の出山から「つるつる温泉」に向かう稜線に出る



「日の出山頂上」(902m) 記念に一枚パチリ



頂上は家族連れのハイカーで一杯。御嶽山からここに来て、つるつる温泉に向かうのだと言う。



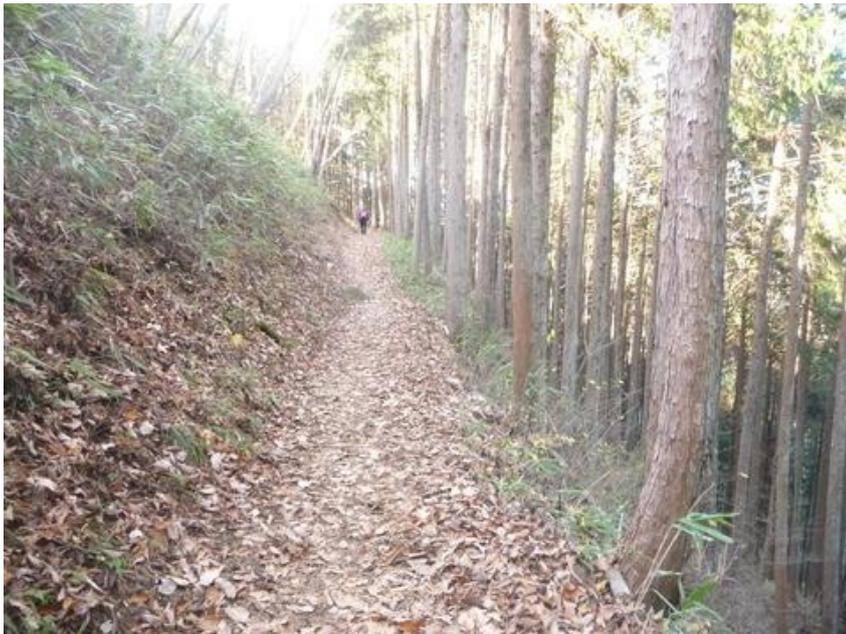
西の方は、御嶽山の宿坊と後方「棒の嶺山 (969m)」が見える



頂上から西に下ればすぐ、御嶽山の神域に入る



かなり歩いたつもりなのだが、里程標を見れば、1/3しか歩いていない



明るい尾根の上を行くから、日差しもあって子供でも歩ける快適なトレイルだ



アッと言う間に御嶽山参道に到着



「御嶽山山門」に到着



御嶽山には、たくさんの宿坊が神社周辺の参道にある。丹沢の大山は山麓に御師の家があり、高尾山には宿坊がない



「高尾山神社」崇神天皇七年開基と伝える、関東の霊山として信仰されて来た。中世には関東修験者の一大中心地

として、鎌倉武将達の信仰を集める。江戸時代に入ると家康は朱印 30 石を寄進し、社殿を改修した。  
祭神：櫛真智の命、大巳貴命、日本武尊 国宝 2 件、重文 2 を収蔵する



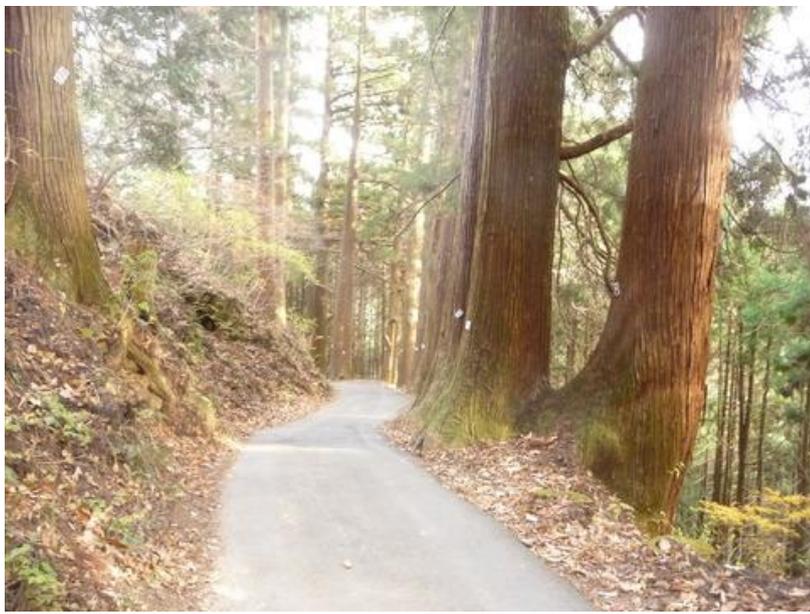
「馬場家御師の住宅」格式高い藁屋根住宅



「丸山荘」ここも古い御師の住宅で、冠木門前には講中碑が並ぶ



ふれあいの道はケーブルカーを使わず、昔からの参道を下ってゆく、樹齢 300 年を超える杉が圧巻



この道はまた御師住宅への生活道路でもあるから、舗装されている



ここまで来て未だ半分とは、本当？



「滝本」ここは御嶽山の参詣道入口でもあり、ケーブルカーの駅でもある



滝本からバスに乗らず、県道を下って多摩川を吊り橋で越える



橋を渡って道は川沿いに左岸に行くのであるが、先の台風で護岸が崩壊し、通行止め



青梅街道に出て駅に向かった。

[コースタイム] 武蔵五日市駅 (9:31) ⇒バス⇒上養沢 (10:15) →養沢鍾乳洞跡  
(11:00-11:10) →日の出山 (12:10-13:00 昼) →御嶽山 (13:45-14:00) →  
滝本 (15:00) →JR 御嶽駅 (15:42) 23,000 歩 16.8 kmであった

この項完

関東ふれあいの道を歩く 東京⑦山草のみちに続く